

第4回 （仮称）みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会記録

日 時 令和7年5月31日 10時00分から11時45分
場 所 八千代市緑が丘2丁目4番地 八千代市立新木戸小学校2階ICTルーム
議 題 1 報告
(1) 通学路の整備（A部会）
(2) 備品の整備（A部会）
2 議事
(1) 校名案の選定（B部会）
(2) 校章の選定方法（B部会）
(3) 学校経営（グランドデザイン）の方向性（B部会）
(4) 学用品（B部会）
3 連絡
4 その他

公開又は

非公開の別 公開

出席者 <以下敬称略>

佐々木俊一，菅谷貢，一雅雄，濱崎宏伸，諏訪大輔，倉橋正明，

阿久津博一，岡田久恵，岡本宗之，瀬口朗子，丹治貴史，兒玉健司

事務局 教育総務課長 渡邊久貢，学務課長 片波見昌浩，指導課長 加藤英昭

保健体育課長 宗像 洋，教育センター所長 向 智広

傍聴者定員 5名

傍 聴 者 0名

学務課員 皆さんおはようございます。

本日はご多用の中，ご出席いただき，ありがとうございます。

初めに，今年度新たに委員を引き受けいただきました方の委員の委嘱を行います。本来であれば，お1人ずつお渡しするところですが，時間の都合上，お名前のみのご紹介させていただきます。委嘱状につきましては，机上に置かせていただいておりますので，ご確認いただき，何かございましたら，後程事務局までお伝えください。

【委員委嘱】

学務課員 続きまして，本日の資料の確認をします。

本日の資料は机上に，ホチキス留めの冊子が一部あると思います。1枚目が次第となっており，資料No.1として7枚。13ページまでとなっております。それに続いて，資料No.2，これは1枚。そしてその後ろに資料No.3，最

後に1枚参考資料がついています。不足等ございましたら事務局にお伝えください。それでは会議の進行、委員長お願いします。

委員長 おはようございます。

少し間が空きましたが、第4回ということでみどりが丘小学校分離新設校の設立準備委員会、皆さんよろしくお願いします。

年度が変わり、新任の方もいらっしゃるということですので、ぜひよろしくお願いします。

この会議体、来年の開校、ちょうど、ほぼ1年ですね、1年後の令和8年4月の新設校の開校に向けてということで、私たち大人ができることをやりましょうと、今いる子どもたちと、そして未来の子どもたちのために、できることは考えましょうという会議ですので、新しくご参加いただいた皆さんもぜひご協力をいただければと思っています。

では、本日はありがたいことに全員が出席です。「(仮称)みどりが丘小学校分新設校設立準備委員会設置要綱第六条第2項」に基づき、出席者が過半を超えていますので、本日の会議は成立することを確認します。ただ今より、みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会を開会します。よろしくお願いします。

では、お手元の次第に従って進行します。まず初めに、報告事項、一番、(1)番です。「通学路の整備」について、A部会よろしくお願いします。

保健体育課長 「通学路の整備」について、5月30日現在の進捗状況を簡単に報告します。

昨年11月2日の第2回の設立準備委員会、それから12月21日のご意見を伺う会までに確認させていただいた整備要望については、令和7年の1月頃までに、八千代市都市整備部、八千代警察署、千葉県千葉土木事務所を中心に整備要望を出しています。

現在はその進捗を確認しつつ、各部署と連携を図っているところです。本日は5月30日現在の整備、それから対応が完了または決定している箇所についてお知らせします。

まず新設校の裏側にあたる、県道57号のヤマト運輸付近についてです。この箇所はご覧のように、ガードパイプの設置、歩道のカラー舗装、目の前にある電柱の移設を千葉土木事務所に、それからフェンスの補修について、個人宅に要望するとしていました。5月30日現在、実はもっと早い時期だったのですが、現在このように整備がされています。

補足しますと、画面に見えるオレンジ色のポールをガイドポストというのですが、こちらが設置されています。歩道のカラー舗装、児童多し注意と書かれている注意を促す電柱幕の設置が完了しています。元々車道までのスペースが非常に狭いので、金属製のガードパイプを設置することがとても困難

であり、代わりにガイドポストを設置したということで、県から回答を得ています。また、電柱の移設については、過去に別の場所から、この場所に移設されたという経緯があることと、近くに移設場所がないため移設は困難と判断されています。

個人宅のフェンスの補修については、当初この同時期に要望していこうと考えていましたが、個人の所有であることから、実際の登下校の状況等を見て、慎重に補修の依頼は呼びかけていきたいと考えています。

次に、運輸会社先を左折するテニスコート裏の八千代市道付近の整備状況を説明します。この道については、一定の交通規制を八千代警察署へ、街灯の設置と注意喚起の看板の設置を八千代市の関係部署に要望していました。交通規制については、まだ明確な回答をいただいていません。引き続き調整していきますが、警察の話では、地域住民の同意を得る必要があることから、現実的には難しいのではないかなというようにも聞いています。

それから街灯と注意喚起の看板の設置については、今のところ整備が完了しています。整備が完了した街灯と看板の整備状況を少し詳しく見ていきたいと思います。画面の赤い丸印のところが、元々街灯が設置されている場所、青い丸印の2か所が、新たに街灯が設置された場所です。私も確認したのですが、設置できるすべての電柱に街灯が設置された状態だと認識しています。画面の右下の方の直線の部分に街灯が少ないように感じますが、街灯を設置できる場所がそもそもない場所であることと、新たに柱を立てていくスペースも無いことから、少し街灯の間隔があるかなという印象があります。それから、故障や電球の劣化等についても、これから気を配っていきたいと思います。

また、緑色の四角の印の部分は、写真にありますように、注意喚起の電柱幕を設置したところです。電柱に巻きつける形で、なるべく邪魔にならない方法を取っています。

県道 57 号ですが、この整備を進めていく中で、実は新たに対応が必要となる内容があることがわかりました。この件は、11 月の設立準備委員会の時点ではわかっていなかったことですので、今回初めてお伝えすることになります。図のピンク色で示したところに、会社があります。金属関係のものを扱うこの会社に物資を輸送するトラックが出入りするのですが、図の青い矢印のように、県道 57 号を左折するルートを通ります。その際に、一度で曲がり切ることができないトラックがあるようで、その場合にはトラックを切り返す必要があります。このように、トラックの切り返しの際にバックをして、歩道部分に車体の後ろが一部かかるような形になるようです。従いまして、この会社とは登下校の時間帯にあたる 7 時から 8 時、それから、14 時から 16

時の間には、この大型のトラックはこの箇所を使用しないということでした。ただ、この点につきましては、新設校の登下校事情や、日によって下校時刻が変わるようなこともあると思いますので、そこが決定次第、状況を見ながら、細かいところは今後調整を図っていきたいと思います。この会社については、協力的にお話を聞いてくださっております。

以上、現時点で確定している整備の状況をお伝えしました。引き続き整備を要望した箇所については、その進捗と今後の整備計画について、関係部署と連携して情報提供していきます。

委員長 ありがとうございます。ただいまA部会からご説明がありました。ご質問、ご意見等があれば、委員の皆さんいかがでしょうか。

特によろしいですか。少し新しい情報も入っていましたが、そちらも相手は民間ですが、ご対応していただいているということですので、まずは進捗ということでした。また残りは次回ということですね。

ご質問よろしいですかね。ありがとうございます。では（２）に進みます。「備品の整備」こちらもA部会です。よろしくお願いします。

教育総務課長 新設校の備品について報告をします。

まず、備品に入る前に、現在の進捗状況について簡単に説明します。写真は４月末現在となっておりますが、５月末で、基礎工事はほぼ完了をしている状況です。６月から鉄骨建て方を開始しますので、今後、建物の形が徐々にでき上がっていきます。教育委員会教育総務課のホームページでも、およそ２か月に１回程度更新をしています。よろしければご覧いただければと思います。

それでは備品についてですが、３月議会で、備品調達に係る予算が承認をされ、今後の見通しがついていることを報告します。

備品の話に入る前に、以前少しお話もありました新設校の図書について触れていきたいと思いますが、新設校の図書室の特色を活かしまして、児童が床に座りながら、本を読めるスペースであります「小上がり」。それから窓際で個別に図書が読める場所があるというところが、他の学校にない特色となっています。また、目の前にＩＣＴルームを設置することで、児童が学習する際に連携可能となり、１つの大きなメディアセンターとして活用が期待される場所です。

それでは図書ですが、文部科学省が公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として定めています冊数の基準として、学校図書館図書標準というものがあります。この基準を満たす冊数をすべて新規で調達をする予定となっています。今考えているのが、１４学級分で約８,７６０冊程度を予定しています。そのようなことからみどりが丘小学校から移設ということは

考えておりません。

先ほど説明した図書をはじめとして、開校にあたって整備が必要な備品については、児童用の机や椅子、それから収納棚等の管理備品、授業で使用する各教科の備品等、多岐にわたっております。これらの調達に際しましては、実際に使用する現場の先生たちの意見を取り入れることが重要であると考えております。みどりが丘小学校の先生方と連携を密にしながら調達していきます。以上、報告となります。

委員長 ありがとうございました。では、備品の整備についてご意見、ご質問等あれば、よろしくお願いいたします。こちらもしよろしいですかね。前の会議の中で、みどりが丘小の本が減ってしまうのかということがありましたから、今それは無いという説明をいただきました。新規に買うということですので。懸念が晴れているかなと思っています。この点も閉じてよろしいですか。ありがとうございます。

では、一番報告が終わりますので、議事に入ります。

議事の中、(1)です。「校名案の選定」について、B部会よろしくお願いいたします。

指導課員 まず、校名の選定についてです。令和7年2月に実施したアンケート結果について説明します。対象は、みどりが丘小の1年生から3年生と、学区変更の対象となる児童の保護者から集計しました。なお、参考として、4年生から6年生のアンケート調査を行い、その結果も掲載しています。右から2番目の左記合計をご覧ください。一番多かったのは、一番下の「みどりが丘第二小学校」で199人。次に多かったのは、「きみどりが丘小学校」の173人でした。また、参考で調査した一番右の、4年生から6年生を見ますと、やはり「みどりが丘第二小学校」を選択する児童が一番多い結果となっております。

続きまして、先ほどの表をグラフで表したのですが、こちらを見ると、一番右の「みどりが丘第二小学校」を選択したのが、1年生から3年生と該当保護者で多かったです。また、4年生から6年生についても、多くの児童が「みどりが丘第二小学校」を選択することがわかります。

前回の設立準備委員会で示したように、「校名選定の基本的な考え方」として、①コンセプトをもとに新設校にふさわしく、校区の児童、保護者及び地域が親しみや愛着を持てるもの。②他市等に類似の校名がなく、誤解されることがないもの。③難しい漢字を使わないものの3点を基準に、委員会でこのアンケート結果をもとに検討しました。

まず、児童が「みどりが丘第二小学校」を選んだ理由として、『「みどりが丘」は残した方が、みんなが安心すると思うから。』『「みどりが丘小との繋が

りがあることがわかるから。」「分離校なので、2 つ目のみどりが丘小学校としてふさわしい。」等、みどりが丘第二小学校という校名に対して、児童の思いが込められている意見が目立ちました。

また、2 番目に多かった「きみどりが丘小学校」を選んだ理由として、「面白い名前だから。」「みどりが丘小と似ているから。」「色が似ているから。」「弟みたいな名前だから。」と子どもらしい意見が目立ちました。

それを受け、アンケートの数値から見ても「みどりが丘第二小学校」という意見が多いこと。「みど二小」と呼びやすいこと。みどりが丘への愛を感じ、受け入れやすいのではないかという意見が出されて、B 部会として、「みどりが丘第二小学校」を校名案として出させていただきたいと思います。委員の皆様で協議をお願いします。

委員長 説明ありがとうございます。今アンケートの結果も示されました。B 部会の中でも議論をした結果、「みどりが丘第二小学校」でいかがですかということです。これに対して、ご意見、ご質問等いただければと思います。よろしくをお願いします。

皆さん大丈夫ですか。非常に収まりのいい名前、結果収まったなという感じではあります。ご意見よろしいでしょうか。はいどうぞ。

委員 アンケートグラフですが、「きみどりが丘小」が該当者の部分で唯一高いという状況ですが、この結果についてはどのように考えていますか。

指導課長 このグラフの中で、左から 2 番目の該当の児童のところについては、「きみどりが丘小学校」が 27 名で、「みどりが丘第二小学校」が 23 名ということで 4 名の差、「新みどりが丘小学校」は 20 名という中で、分母が少ない中での差異なので、あまり配慮する部分ではないのではないかと考えています。その上でアンケートの結果を踏まえた、「みどりが丘第二小学校」という理由のところを重点にすると、子どもたちが選んだ理由が、「みどりが丘」という名前を大切にしたいという思いや肯定的な意見が非常に多く、参考にした次第です。

委員長 大丈夫ですかね。他にご意見よろしいでしょうか。愛称は「みど二」になるのか、もしかしたら「み二小」になるのかもしれませんが、いい名前がついているなどと思うことで、私どもの会議体としては、この名前「みどりが丘第二小学校」という名前で結果を出していきたいと思います。決をとりましょう。では、この名前で賛成をいただける方、挙手をお願いします。挙手全員ですね。ありがとうございます。全員賛成ということで、「みどりが丘第二小学校」という校名でよろしくお願いします。

続いて 2 番項に入ります。2 番項、「校章の選定方法」です。B 部会よろしくをお願いします。

指導課員 それでは、引き続き校章の選定方法について説明します。まず、スケジュールについてですが、モニターをご覧ください。本日の第4回設立準備委員会にて、B部会で話し合われた選定方法について説明をします。

来週の6月2日から6月9日までの1週間をかけて、みどりが丘小学校に在籍する全児童に校章デザインの募集用紙を配付し、任意で提出してもらいます。それとあわせて、校章の素案を組み合わせでデザイン化をしていただくための人を、高津中学校の生徒、みどりが丘小学校の保護者から募集します。

次に、児童が描いてきた校章案を、6月10日のB部会で絞り込みをします。6月14日には、校章の素案を組み合わせで、先ほど説明したデザイン画を出してくださる人を集め、作成方法や提出方法等の説明をします。

6月15日から6月30日にかけて、その方々に校章の素案を基に、デザイン化していただきます。7月7日から7月10日にデザイン化したものの中から、校章としてふさわしい作品についてアンケートを実施します。対象については、校名アンケートと同様に、1年生から4年生の全児童及び分離新設校該当保護者とします。なお、参考としまして、5・6年生児童にも実施します。

7月11日から7月17日にかけて、アンケートを集計し、結果をまとめます。7月18日のB部会にて、アンケート結果を確認し、校章案を選定します。そして、第5回設立準備委員会にて、校章案を基に協議していただき、決定する方法となります。

続きまして、校章作成の要綱の案です。「作成者が創作した未発表でオリジナルのものとする事。」「デザインに関する一切の権利、著作権等は、八千代市教育委員会及び新設校に帰属すること。」「デザインに使用する色は二色以内とし、グラデーションやぼかしは使用しないこと。」なお、色を二色以内限定したのは、体操服に校章をつける場合、3色以上になってしまうと、価格が上がってしまうため、保護者の負担軽減を考えて、二色以内としました。さらに、「デザインを拡大、縮小して使用できるように配慮すること。」「白黒等で使用しても、イメージが損なわれないようにすること。」以上につきまして要綱案とします。

応募用紙は、モニターにあるような用紙を全児童に配付しようと思います。描くときのルールや、参考として現在のみどりが丘小学校の校章とその由来を提示してあります。また、1年生も参加しやすいように、漢字に振り仮名も入れてあります。参考の資料として、みどりが丘小学校の校章のコンセプトを提示します。新しい校章を作成するアイディアのヒントになるのではないかと考え、子どもたちに配付する応募用紙にも資料として掲載しました。

以上で、校章の選定について説明を終わりますが、ご意見、よろしく願います。

委員長 ありがとうございます。それでは委員の皆さん、ご質問、ご意見等ございますか。どうぞ。

委員 1年生から4年生の全児童を対象にアンケートをするというのは、分離新設校に入ってくるのが5年生からということですね。少し遡って、校名のアンケートのときになぜ1年生から3年生と、4年から6年生で分けたのでしょうか。

指導課長 昨年度のアンケートを取った際には、新設校に移る児童が1年生から3年生となり、今年度は対象が1年生から4年生に変わることになります。

委員 そうということですか。年度が違うからということですね。
あと、校名と違って今回はデザインをアンケートの中で選んで、私たちはもう出てきたものだけで、イエスかノーで決めるという流れですか。

指導課長 校名の際には、皆さんに案として、おそらく7つ程度ということで提案をさせていただきましたが、子どもたちから挙がってきた校章については、まず、B部会である程度の絞り込みを行った段階で、今回のようにアンケート調査結果として皆さんに提示をしていきます。またB部会で、案として挙がってきたものを皆さんに提示した上で、最終的にこの幾つかあるうちの、これでよろしいかどうかということ、また協議していただくことになります。

委員 B部会でやるというのは、7月18日の会議でやって、アンケート結果を絞り込むという流れですね。わかりました。

委員長 校章案については、B部会の中でも悩んで、どれが一番正しいのかと結構喧々諤々やったのですが、やはり子どもたちに原案を作らせてあげたいというのが、まずスタート。しかし、それを整える人がいないと結局かっこいい形にならないということなので、この手順がわかりづらいですが、最終的にはこの会議体の中で、最終的に案として決定をするという流れになっていきますのでご理解ください。

案を集める中で今思ったことは、白黒でも対応できることというのがあったのですが、これ、私が聞いてはいけないかもしれませんが、子どもたちは、同じマークで色違いを持ってくることも考えられるなと思っているのですが、それは白黒にすると同じになってしまうのですよね。

委員 僕も考えたら、真ん中だけ「二」になってしまうのかなと。

委員長 「二」になればいいけど、そのままのようなこともあるのかな。それも含めてまた考えましょう。想定されますよね。

ご意見、ご質問等あれば、ここわかりづらいところなので、ぜひご意見をください。

- 委員 みどりが丘小学校のスクールカラーはエメラルドグリーンなのですが、新しい学校はまだ決まっていらないのですよね。校章の色がスクールカラーになるかもしれないですね。
- 委員長 そうなるかもしれないですね。はいどうぞ。
- 委員 ちょっと理解できなくて申し訳ないのですが、デザインに関する一切の権利と著作権等は学校と教育委員会に帰属されるということで、実際に意匠調査や、重複がないという調査をされるのかということと、もし本格的に特許庁の意匠調査をされるとなると期間が短すぎる。
- あと、そうではなく公共的なものであるから、一般的に調査する中でないという、どの調査をされるのか等を含めて、このような場合、どのような調査をされるのでしょうか。そもそも理解できておらず申し訳ないのですが、オリジナルのものであることというところの認識といいますか、どのようなイメージをされているのかなど。全国で調べたらこの四葉になりましたというものが良いのか悪いのか。一般的に学校の校章や公共的なものに関しては、意識してどこかのホームページから取ってきたのでなければ良い程度なのか。どうなのでしょう。
- 委員 私もB部会に参加をして話をしたのですが、イメージ的には、みどりが丘小学校で「みどまる」というキャラクターをつくった際に、児童からいろいろ出たものを集めて合体させたときに、良いところを取ったので、全く同じものができるというのはちょっと確率的には低いかなと思っています。
- B部会でも特許庁の話はしていないので、そこは今後の課題かもしれない。もともと、他の学校もやっているかもわからない。ですから、同じものができるという確率は低いと思っているので、そういった懸念は低いかなと。
- 委員 意匠登録もしないという前提ですよね。
- 委員長 しないと思いますよ。委員のその懸念は確かにそうで、校章は多分日本全国探したら同じのがあるような気がしますので、「みどまる」は当たらなくても、校章は当たるような気がします。
- そこをどう考えるかということですが、いかがでしょうか。
- 指導課長 今の「みどまる」の話ではないのですが、キャラクター的なもののデザインを想定したときには、似ているようなものがあれば多少影響があるように考えますが、簡素で具体がしっかりとしている部分からすると、先ほど委員がおっしゃったように、重なるものや似ているものはあるのかなと考えております。そのあたりの影響がないか調べられる範囲で対応したいと思います。
- 委員 学校としては、著作権に関して弱いといいますか、そのようなところがありまして、最近では、学校だよりや担任が出す学級だよりにイラストがあり、そのイラストには本来著作権があり、勝手に使ってしまったということ

や、当初無料のイラストということだったが、著作権をもっている方が有償にしたタイミングがあり、学校はそのタイミングを知らずに、過去のイラストを学校のホームページにずっと載せていたということで、訴訟になり、市が負担したという事例が全国では生じております。

そのようなことで、委員のご指摘があったことは、少し危ういことも可能性としてはあるので、多分校章のことも、学校がつくるキャラクターのようなものも、あまりそのあたりのことというのはこれまでの経緯で言うと、すべては見えていないところがあると思われます。そこで、ちょうど教育委員会でも弁護士さんで学校関係の案件を扱っている方に相談できる仕組みがあるので、今回の件についても、相談をして問題がないような形で進められればと考えておりますが、そのような方向でいかがでしょうか。

委員長 今、教育委員会としての対処方法やご説明をいただきました。他にご意見ご質問ありますか。どうぞ。

委員 お聞きしたいこととしては、6月10日の素案が出てきてからのB部会でのデザイン絞り込みについて、どのような基準で絞り込んでいくのか。具体的な選定作業で、例えば、形であれば、同じ形のものをふるいにかけ、合わせていく等、そのような作業基準の考えがあれば教えてください。

指導課長 今お配りの資料の後ろのところに、アンケートの資料2ということで載せていますが、校章を選ぶ際の校章に込められた願いや理由というところと、分離新設小学校のコンセプトがありますので、そのようなものを基にすること、デザインとして細かすぎると拡大や加工するときに支障が出てしまうことから、新木戸小学校やみどりが丘小学校のようにシンプルな形で2色を基準として、みどりが丘小学校の校章も参考にしながら作業を進めていく予定です。

委員長 よろしいですか。他にご意見はよろしいですか。どうぞ。

委員 以前B部会で配っていただいた校章一覧というものがあまして、それを見ると校章に文字が入る小学校もありますが、みどりが丘第二小学校となった場合、真ん中に文字が入るのは後からでもできるのででしょうか。それとも校章をつくった時点で入るのでしょうか。

指導課長 校章がつけられる時点で、文字についても入れていく内容となります。その際にも、色が2色に収まるようにということになります。校章一覧の資料を見ていただくとイメージしやすいと思いますが、校章の真ん中に文字として入っているところがありますので、この段階である程度文字も入れた状態で2色という形になります。

委員長 今の委員の質問は、校章の中に校名が入るのかという質問ですね。校名の決定は後になるので、校章の中に校名は入らないというのが答えになるのか

など。今回募集する段階では、告知をしていないから校名は決まっていない。あくまでも児童が書いてくれた原案を、地域の方または高津中学校の美術部等の生徒さんたちがデザイン化してくれたものを、私たちで選びましょうというのが今回の流れなので。そのようにすると、校名は反映されてこないはずなのです。それでいいのですよね。

指導課長 はい。校名については、後ほど見ていただくスケジュールのところに資料として入っておりますが、最終的に9月の議会を受けて決定していく形になりますので、その前に入れるというのはできないので、子どもが描いてくるものについては、学校名は入らないものになります。

委員 逆に言うと、校名は「みどりが丘」という名前を大切にしたいとのことでしたが、校名とは無関係に校章はどのようなものがいいかというアンケートを行うということですか。

委員 B部会でも時系列の経緯は確認して、学校の名前を入れた方が良いとは思ったのですが、発表と最後のスケジュールがどうしてもかみ合わなくて、説明会のときに承認が得られていないので学校名が伝えられないと。なりそうだということでも言うこともできるが、決まっていないことは言うてはいけないと思うので、どうしても学校名が入らない校章を作らなければならないというのが現状です。

委員長 この会議、以前第2回だったかな、校名が決まっていないので、校章は決められないという議論があったのですね。しかし、委員が言ってくれましたが、どうしてもタイムスケジュールに乗らないというところがあり、先ほど校名案を決めました、最終的には教育委員会の会議で決めていきますので、私たちはこの案がこの会議の中で決まったよ、これにしてくれよというだけです。確定はできてないというところが苦しいですね。ですから、先ほど委員おっしゃるように、本当は校名が決まっている方が私も気持ち良いのですが、時系列の中で苦しいなというのがあります。

委員 この後の議論を先取りして申し訳ないのですが、体操服や備品等もみどりが丘小学校のものをそのまま使用するという雰囲気がある中で、名前も結局ほぼそのまま、使うものもそのまま、校章を案内するときに明確に伝えられずに考えてもらうというのは少し申し訳ないかなと。体操服の色もこのままでいけばエメラルドグリーンになると思うので、体操服と校章の色合いも合わせられたと思ったのですが。

委員長 今、先の話をしてきましたが、体操服の色を変えていくとまた負担が増えるので、実はこの後の議題に出てきますが、やはり今のままで行きたいというのは保護者の声なのです。そうすると、校章はもう単体で考えていくものなのです。先ほど言いましたが、担当からお答えいただいたとこ

ろになりますが、校門につけるのか、体育館の上につけるのか、演台につけるのかですよね。ですから、ちょっとリンクがさせづらい。何かうまいことかないものかなと思うのですが。白黒刷りだからわかりづらいところもありますが、校章に学校名が入っているところというのは大和田小学校、睦小学校、あと高津小学校がそうですね。これらの学校が入っていますが、逆に言うと、入っていないところは全然入っていないのですよね。

デザインとしては同じものが来るかもしれない。先ほど色が違うだけで葉が来るかもしれないと私が発言しましたが、できれば葉が6枚とか8枚で来てもらうといいなと思っていたのですが、やはり子どもたちに考えさせたい。子どもたちの意見を取り入れて、一度、B部会の中でも見ますが、先ほど課長から説明があったように、子どもたちはルールに書いてあっても、キャラクターの絵を少し使ってみたり、ウルトラマンなのか何とかレンジャーなのかわからないですが、そういうものを入れてきたりもすると思うので、そのようなものをはじいていきながら、ある程度子どもの意見と大人の正しい目を使いながら、またこの設立準備委員会に提案をしていければと思っております。校章と校名がリンクしないということをご理解ください。

他にご意見ご質問ありますか。どうぞ。

委員 少し話についていけなかったところがあり、確認になるのですが、校章は第5回の設立準備委員会で決定すると書いてあり、校名が決まるのはその後となると、校章に校名は入らないということになりますか。

委員長 校名自体は先ほど決を採らせてもらったので、この会議体で「みどりが丘第二小学校」として決まったのですが、私たちの中で決まっても、正式に決めていただくのは市議会となるので、正式に確定がしていないという状況ですね。

委員 正式に決まるのはいつ頃になるのでしょうか。

指導課長 一度、7月に定例教育委員会というところで決まりますが、最終的に条例として議会の議決になると、9月末になります。

委員 9月末に校章に名前を入れるのですか。それとも、名前は入れないで校章を確定させてしまうのですか。

指導課長 決められないというのが現状なので、入れない形や「小」だけを入れるのかなと。

委員 「みどりが丘第二小学校」になっても、「みどり」や「二」といったものは入れない形で校章は決まっていくということですね。わかりました。

委員長 よろしいですか。少しわかりづらいところもありましたが、ご意見ご質問よろしいですか。どうぞ。

委員 前回の話の中で、高津中学校の美術関係の生徒にデザインをお願いすると

というような話があったと記憶しているのですが、それはなくなったのでしょうか。

委員長 お手持ちの資料だと、5 ページ、校章の選定方法というところです。パワーポイントのスライドです。この中で、まず応募期間としては、校章の子どもたちの案を集めるのが6月2日から6月9日というのがあります。これで子供たちの天真爛漫なデザインを集めたいという期間ですね。その後、校章デザイン化説明会というのが6月14日にあり、ある程度数を選別してからですが、デザイン化してくださいというものを周知します。対象が、みどりが丘小学校のエリアの保護者や地域の方々、高津中学校の美術部やICT部に声をかけていきたいなということがありました。よろしいですか。

委員 デザインを募集して、組み合わせてデザイン化をするということは、1つのデザインとしてできているものも、スクリーニングされた後で組み合わされるようなイメージですか。

委員長 もしかしたら、委員がおっしゃるように、非常に精度の高いものを児童が描いてくるかもしれないですね。そのような場合は修正が入らない可能性はあります。ただ、問題なのは、どうしても色鉛筆やクレヨンで書いたものはそのまま使えません。線のクリア化をしなければいけないので、そのような作業で、中学生もしくは大人の手が入るというイメージです。

委員 わかりました。

委員長 今回は、進め方はこれでよろしいですかというところです。皆様のご意見ご質問をいただいて、より良い道を進めたいなと思っていますので、ご質問を多くいただいたほうが良いのですが、いかがでしょうか。どうぞ。

委員 校章募集に応じた小学生のデザインが採用された場合、その方は公表されるようなことはあるのでしょうか。

指導課長 公表に関しては、ある程度限定されることもありますが、デザインを組み合わせる場合もありますので、選ばれた段階で対応を考えていきたいと思えます。デザインの組み合わせの数にもよりますので、そのあたりも含めてご意見をいただければと思います。

委員 誰かのアイディアになるというのは、基本的にはケースバイケースで公表するかもしれないということですか。

指導課長 そのあたりも検討をさせていただければと思います。

委員長 想定としては、1人の子のものがそのままということはありませんので、答えとしては多分公表はないと思っています。B部会ではその話も出ました。どうしても先ほどから合体修正ということもあるので、本人は私の作ったものみたいだと思うかもしれませんが、それでも修正が入ると少し違うものになってくるはずなので、基本的には公表はあまり想定をしてないという

ころですね。

先ほど申しましたが、本当に素晴らしいデザインが来たら、子どもの名前が書いてあるのもありかなと思うので、その時は皆さんにお諮りをしますので、ご意見ください。

委員 校名については、市議会の関係で9月末頃にということで、その際に話の中で、校章とあわせてスクールカラー等が決まってくるという論点でしたが、これは第5回の設立準備委員会でないとだめなのではないでしょうか。校名が決まった後の第6回の議題にしても良いのではないかと思いますのですが、それでは間に合わない等の事情があるのでしょうか。

指導課長 このスケジュールで入れたのは、実際の工事や、校旗の作製にあたり、この時期でないと間に合わないということがありますので、ここに設定させていただきました。

委員長 具体的には、今の工事の中で校章をつける場面があるのですね。決めておかないと工事が進められないので、教育委員会が建設業者に文句を言われてしまうことになってしまうため、そういう意味合いで第5回でなければいけないということですね。

委員 校章は設立準備委員会で決定できるのでしょうか。決まった後に、市議会に提出することはあるのでしょうか。

指導課長 校章については、市議会に提出するようなことはありませんので、設立準備委員会で決まれば、そのまま決定となります。

委員長 皆さんよろしいですか。いろんな角度からご意見いただきましたが、実は6月に非常にタイトなスケジュールで、7月ないしは8月の第5回のこの会議で確定をしたいということでございますので、この手順で説明させていただきます。よろしく願いいたします。

では3番項に移ります。「学校経営。グランドデザインの方向性」です。こちらもB部会です。よろしくお願いします。

指導課員 学校経営のグランドデザインの方向性について説明します。

学校のグランドデザインは、学校の教育理念や果たすべき役割、目指す学校像、育成したい児童像などを描いた経営全体構想で、その学校の教育課程の根幹となる大切なものです。学校経営方針は、経営をしていく責任者である校長が考えるべきものであることから、最終的に校長がグランドデザインを完成させていくことが妥当と考えます。

まずは、分離新設校対象の児童と保護者、みどりが丘小学校職員にアンケートを実施し、新設校に向けての思いや願い、考えを伺いたいと思います。

そして、各対象から出てきた言葉や意見をB部会にて整理したのち、設立準備委員会で基本方針や具体の説明をし、さらにご意見を伺えればと思って

おります。

最後に、グランドデザインの参考となる言葉や内容を整理したものを、新校長に伝え、グランドデザインを完成させていきます。以上が学校経営、グランドデザインの方向性となります。ご意見を伺えればと思います。

委員長 ありがとうございます。では今の点でご意見ご質問、皆さんの方からありますか。

委員 少し抽象的過ぎて意見が言えないのですが、例えばみどりが丘小学校ではこのようにやってきたというものがあれば教えてください。

委員 各学校、学校教育目標というものを設定しています。それをもとに、今年度の学校経営の方向性を示しているものが1枚程度の紙でまとめてあります。それは、学校長の考えによって違うところがあり、これを1ペーパーのような形で、みんなの声を生かしながら作っていいのではないかという提案がB部会での内容になります。

委員 その紙の資料が配られると、どのようなことがしたいのか皆さんイメージがしやすいですかね。

委員 少しよくわからないことがあり、学校は校長が変わることがあるのですが、ここでまとめたことが、未来永劫その学校の特色になるということなのか。今ここで決めることで、新しい校長先生が拘束されてしまい、それしかできないという話になると良くないのかなと。

委員長 まず先ほどのB部会からの説明ですが、決めるということは1つもしないのです。ただアンケートをとって、令和8年4月1日に校長先生が着任される。そして、学校経営方針作成のための参考資料を作ってさしあげようというだけなのです。何か決めるということは1つありません。アンケートをとって私たちこの会議体の中でこのような学校になったらいいなという意見等を載せて、それをプレゼントとして届けるような感じです。

先ほどご質問があった、私たちが出したものが未来永劫続くかと言ったら全く続かないと思います。全然続かなくて構いません。当然校長先生が当該の小学校からいなくなるときは、次の校長先生は全然違うものにするかもしれませんし、前校長先生の7割使うかもしれませんし、良いところはずっと使っているかもしれませんが、それで良いと思います。それは、最終的に校長先生に学校経営の責任があるよということですので、僕たちはプレゼント届けたいというのがこの案ですね。どうぞ。

委員 私新任校長なのですが、赴任してこのようなものが何もない状況で一から作るとなると、なかなか難しいと思います。私の前任の校長先生が残っていたものを見させていただきながら、どのようにこの学校を自分の考える学校にしていきたいかと考えて、同じようにグランドデザインを出させていた

できました。ですから、保護者や子ども、それから部会の方たちが、このような学校がいいのではないかというヒントのようなものをいただくと、それを基に校長がグランドデザインを考えやすいのかなと思います。何もない状態で、まるっきりゼロからだ、どうしようという状態になるのかなと思います。

また、校長も地域のことをよく知っていればやりやすいのかもしれませんが、もし仮に地域のことをあまり知らない者が就いた場合には、なおさら、そういったものがあつたらと思います。

委員 こちらのグランドデザインは校長先生が素案を作っていただき、最終的に学校運営協議会で協議をして決まったものになります。ですから、校長先生がグランドデザインを作るにあたり、このアンケートに関しては有意義に使っていただき、それに基づいて学校運営協議会で提案された際に、地域の中で選出された委員さんと話をした上で最終決定をして、保護者に説明することになるので、ここで決まったから未来永劫ということは全くなく、年度ごとに変わっていくものになります。

今までやってきたものが、校長先生が変わったことで真逆になってしまうと良くないので、協議会を踏まえて最終的に決まっていく流れになります。今回、みどりが丘小学校から異動するので、概ねみどりが丘小学校の色が強いと思います。そこから徐々に新しい学校の色に変わっていくという形なので、アンケートは実施した方が良いと思います。

委員長 今お手元に、みどりが丘小学校と新木戸小学校のグランドデザイン配られましたが、やはり学校ごとに全然違うのですよ。今、学校運営協議会のお話もありましたが、学校運営協議会は基本的に承認をする場ですので、意見は言いますが、基本的には校長先生の考えで学校運営をしていただくという方向性で進んでいきますので、私たちはその支えになるものを作り、プレゼントしたいなというところになります。

あとは、児童と保護者にアンケートをとるということですよね。タイムスケジュールだけ確認したいのですが、いつまでとは特に決まってないのでしょうか。そのあたりだけ教えてください。

指導課長 現状としては、最終的には校長が考えるということで、スケジュールからすると3月になってからということになります。それまでの間に、部会での意見等を集め、第5回の設立準備委員会に間に合うような形で提示をしていきたいと考えています。

委員長 第5回の設立準備委員会の中でまとめるとなると結構きついですが。先ほどの校章と同じになってしまうので。別に6回目でも、もしかしたら7回目があれば7回目でも。要は第5回で決めるという必要性はないのですよね。

指導課長 そうですね。場合によっては、第6回の設立準備委員会でも充分間に合うと思います。

委員長 では、スケジュールの件は、みどりが丘小学校さんと打ち合わせをしながら、進めていただければと思います。第6回がゴールというイメージでよろしいですか。そうすると資料も少し変わってくると思いますので。

あと皆さんの方からはよろしいでしょうか。では、この手順で進めて参りますのでよろしくお願いします。

議案、4番項です。「学用品」に入ります。B部会お願いします。

指導課員 それでは学用品、体操服、安全帽子について説明します。スライドをご覧ください。このアンケートは令和7年5月に分離新設校該当の1年生から4年生の保護者を対象に実施しました。結果として、163人の回答がありました。また、回答のあった保護者の児童の学年は、スライドの通りです。

体操服や安全帽子の指定については、どちらも半数以上の保護者が、指定があった方が良いとの回答でした。B部会として、体操服に名札があることにより、「大きな事故や怪我があったときに、名前をすぐに確認できる。」「体操服の素材として、運動しやすく、動きやすいもの。」「何も指定しないで自由な服装にしまうと、保護者としてはどのようなものを購入して良いか困る。」「今のみどりが丘小学校の体操服は丈夫で、何年着ても型崩れしない。」「先生方が服装での指導が統一されているため、指導しやすいというメリットがある。」等が意見として出されました。児童の安全面、保護者目線の考え方、先生方も指導のしやすさから指定があったほうが良いのではないかという意見にまとまりました。さらに、指定があったほうが良いと回答した保護者からは、ご覧のように、半数以上は一番左上のA、現在のみどりが丘小学校の体操服のデザインを推す意見が多かったです。長袖の体操についても、6割以上が、今のみどりが丘小学校と同じものが良いと考えていることがわかりました。下の長ズボンについては、Kはストレート、Lは下にゴムを付けたデザインのものをサンプルとして作っていただきました。このような結果となっております。

安全帽子についても同じように、現在のみどりが丘小学校と同じデザインで黄色を選ぶ方が9割以上でした。

保護者の意見として、体操服については、「みどりが丘小学校で使っているものをそのまま使いたい。」「校章だけ変えてほしい。」「指定しないでほしい。」「新しいもので統一してほしい。」「どの小学校の体操服でも着て良いことにしてほしい。」「移行期間を長めに設定いただけると助かる。」「サイズアウトをするまで、今の学校のものを使いたい。」という意見がありました。

安全帽子については、「みどりが丘小と同じものを使いたい。」「校章だけ変

えたものが良い。」「近隣小学校と違いがわかるようにしてほしい。」「黄色で同様のならば良いとしてほしい。」「ゴム紐を初めからつけたものを販売してほしい。」「女子もキャップタイプを使用しても良いことにしてほしい。」「すべてキャップ型に統一してほしい。」という意見がありました。

さらに、学用品全般の意見として、「新1年生で、学用品を購入したばかりなので、新設校でもそのまま使用できる方が良い。」「今使っているものが使って良いなら何でも良い。」「お下がり制度などの導入を検討していただきたい。」「みどりが小学校で使っているものが、基本的にそのまま使えるルールがあればありがたい。」「同一デザインであるべき。」「兄弟への流用等しやすいので、負担がさらに軽減される。」「新設校の校章はワッペンやラベル等で簡単に変更できるように準備してほしい。」等の意見がありました。

このようなアンケート結果を踏まえて、保護者の負担をできる限り抑えるためにも、体操服や安全帽子等の学用品は、「現在の学校で使用しているものを継続して使っていただくこと」を基本とし、今後、入学してくる児童に対しても、兄弟姉妹で使用していた学用品を使用しても構わないようにすると良いのではないかとB部会として意見が挙がりました。

体操服のデザインについても、現在のみどりが丘小学校の体操服と同じデザインとし、校章だけは、新しいものにするという意見となりました。

現在のみどりが丘小学校の状況ですが、体操服の長袖、長ズボンの購入については任意であり、必ず購入するものではありません。長ズボンに関しては、アンケート結果にあるように、2種類のズボンを用意し、保護者が選択すると良いのではないかと意見となりました。また、安全帽子についても、車の運転手から見やすい色ということで、現在みどりが丘小学校で使用している黄色い帽子のデザインで良いのではないかとということになりました。帽子の形についても、キャップ型とハット型を用意し、男女関係なく、自由に選べると良いのではないかと意見がB部会で挙がりました。

委員長 ありがとうございます。それでは委員の皆さんからご意見ご質問よろしくお願ひします。どうぞ。

委員 お下がり制度とは具体的にどのような運用になるのでしょうか。リサイクル会のようなものなのか、学校主導で保管するか、保護者間なのか、どのようなイメージでしょうか。

指導課長 例えば上の子が卒業後に、下の子はまだ幼稚園であるとしたときに、ものが非常に新しかったり、良かったりする場合は、下の子が入学した際には、それを使用しても良いという意味合いでのお下がりというイメージです。

委員 学校が介在してというよりは、保護者が自発的に下の子にお渡しするよう

なイメージですか。

指導課長 そうですね。または、バザー等でお下がりを購入といったこともイメージしております。

委員 長 他にご意見ご質問はいかがでしょうか。よろしいですかね。

今の説明でわかっていただいた通り、保護者に寄り添った運用をしたい。課長からもありましたが、お下がりでも良いと。使えるものはずっと使って良いということなので、非常に喜ばれるかな。ご意見よろしいですか。では、学用品の件はこちらの形で進めさせていただきます。

では、議事のほうは以上をもちまして終了します。それでは3番項連絡です。事務局よろしくお願いします。

学務課員 事務局からの連絡、2件となります。

1点目、お手元の資料No.3になりますが、設立準備委員会のスケジュールになります。今年度、本日を含め、全3回の設立準備委員会を予定しています。第5回については、7月下旬から8月上旬を予定しています。後程日程のご都合を伺いたいと考えています。第6回については、10月下旬頃予定しています。

また現在、第6回まで会議を考えていますが、検討の内容等の状況によっては、会議の回数が増える可能性もありますので、ご承知おきいただければと思います。よろしくお願いします。

続いて2点目。各作業部会の日程になりますが、現在、各部会で決まっているところでは、B部会が、6月10日18時30分。あとは、7月18日18時30分からみどりが丘小学校で開催するという予定になっています。C部会は、6月19日18時30分から新木戸小学校で開催する予定です。

また、設立準備委員会に向けて、各部会で委員の皆様のご参加をいただく場合については、別途、各部会から連絡、案内をしますので、確認していただければと思います。連絡は以上です。

委員 長 ありがとうございます。次回はお手元の資料にあるように、7月下旬から8月上旬ということで、改めて教育委員会から連絡がありますのでよろしくお願いします。

続きまして、4番項。その他ですね。委員の皆さんからも含めてですが、何かありますか。どうぞ。

委 員 対象者に対しての通知案内に関しては、どのような状況でしょうか。対象校の保護者会等を立ち上げることに際して、お声掛けしたいということがあるのですが、通知されていないのにお声掛けするのは順番として違うと思い、通知の後にお声掛けをしたいと、みどりが丘小学校学校運営協議会では考えていますので、状況を教えていただければと思います。

学務課員 もう一度、スケジュール表をご覧くださいと思います。下段のところ、定例教育委員会、市議会という欄になりますが、そちらの定例教育委員会の校名、学校設置条例というところが7月に入っていると思いますが、こちらは、定例教育委員会で確認されて決定していくというところになります。

その後、9月の市議会で、学校設置条例を上げていくという流れです。ここで最終的に分離新設校の設置の制定というところになります。

学校設置が承認された後、10月に学区の規則を改正していく、新しい学校の通学区域を変更して、正式な学区が最終的に定まっていくことになりますので、対象となる方への正式な通知はこの10月、学区が改正された後というところを考えています。

委 員 予定で構わないのですが、どのような形で通知されるか教えていただけますか。

学務課員 今回、新木戸小学校の許可学区というところも設定されておりますので、何かしら対象となる方には、わかるように手紙等を配付していこうと現段階では考えておりますが、今後詳細については教育委員会内で確認をした上で、より皆様にわかる方法等を検討してご連絡させていただければと思います。

委 員 もう開校まで10か月を切ったという状態のところまで来ています。先ほどスケジュールの中で、この準備が1年半しかなかったということで、設立準備委員会の皆様にも、昨年度の夏から動いていただいて、この1年半に凝縮しながら、何とか令和8年4月の分離新設校の開校に間に合わせなければいけないということがありましたものですから、今日の議論の中で、校章と校名については、本来であれば校名が決まった後に校章を作るというのが、これまでの流れだったのですが、そこは前後するという厳しい話が入ってきています。

これまた別の話になってしまうのですが、今までの学校だと、校名が設置の条例で、今回のスケジュールで言いますと9月になりますかね。議会で設置条例が定まって、その後学区が決定されて、次の年に開校すると。そうすると通常のこれまでの開校の小学校中学校等では、そこから校章が定まっていくというようなことが普通だったのです。と言いますのは、当該の子どもたちが決まる。そして学校がスタートする。校章をどうする。そのスケジュールで徐々に校歌が出来てきたり、それから校旗も作られたりするそうです。

今回、校旗ひとつとっても、今までですと、校旗は市の予算で作ってきていないというような事情があります。これは全国的にそうなのですが、PTA等の組織で、寄付のような形でいただいていた経緯がありました。

ただ、それなりの額もかかりますし、校舎の建物に校章をつけるというようなことも含めて、今回は市の予算できちんと準備をしていくというような、

新たな取り組みと言っではなんですが、少し新しい方法も取り入れている関係で、校章を早く作らなければいけないというようなことも生じてしまい、そもそもの1年半の期間の中で、校名と校章の部分で、ちょっと前後が変わってしまったということもございます。

いずれにしても、まずそのような状況下である中で、今言ってくださった話に繋がるのですが、開校まで10か月というタイミングで、特にみどり丘小学校は分離していく学校の母体になりますから、学校の校長先生、また、保護者会や学校運営協議会の皆様に、さらにご協力いただきながら、次の学校の準備を作っていただくことになっております。それで、そのスケジュールのことを今確認ということであつたと思うのですね。

この話は、新木戸小学校も全く同じところがございまして、新木戸小学校の校長、それからPTA、また学校運営協議会にもご協力いただきながら、学区が新木戸小区の中に分離新設校ができる関係もあるので、スクールガード関係の調整や、それから先ほど事務局からもありましたが、新木戸小学校の学区から、大和田新田に住んでいる子どもたちに限りますが、手を挙げれば行っていいですよという仕組みにもしてありますので、その人たちをどう動かしていくのか等、そのあたりのことも連携する必要があります。

最後長い話になって申し訳ないのですが、そういうことで、少し教育委員会でも、そのあたりの今年度の細かい準備のスケジュールが定まっていないところもあるので、急ぎ調整させていただき、学務課がベースになると思うのですが、関係の皆様にもお伝えしながら、次の設立準備委員会あたりでもそのあたりのことを触れられるかもしれませんので、設立準備委員の皆様にも佐々木委員長はじめ、皆様の方で承知いただきながら進められればなと思っておりますので、そういうようなことで準備していくという形でいかがでしょうか。

委員長 先ほどスケジュールのお話をいただいて、10月までは、簡単に言うと公表ができないということですが、委員が言ったのは早めに動き出したいと。早めにコミュニティ・スクール、イメージは保護者会ですね。保護者会を作っていくということなので。非常にきついと。これは大変だなと思っているのですが、実際動けるのは、正式に動けるのはやはり10月を超えてからというのは理解をしていますが、実働はやはりしていかなければしょうがないと。

委員 保護者会に参加される保護者は、自分の子どもがどこの学校に行くかということ是非常に関心をもっているのです、おそらくお声掛けするときも、「皆さん誰かやりたい人」ではなくて、「いかがですか」だと思ふのですよ。ですから、教育委員会からの通知を待つのではなく、動いていただいて構わないと思ふのですが。

私も、どうなっているのかなというのは全体的な話がないので気になっていて、しかし気になっているが、手を挙げる自信はなくて、でも逆に手を挙げたい方は、すぐおられるかと思うので、調整していただければと思います。少し無責任な話で申し訳ありませんが。

委員 発表的には今のスケジュールで変わらないので。ただ、事前準備として、動いても良いかという確認をこの場でさせていただき、皆さんから良いという返事をいただければ、学校運営協議会、学校、保護者会を中心に分離新設校に対しての準備をスタートさせたいと思っています。よろしいでしょうか。

委員長 正式には、10月まではというのは理解しますが、実情としてはやらなければいけない。それに関して、仮の話をしていくしかないなので、それはC部会が主導していく。あとは学校と保護者会が主導していく話ですので、注意をしながら動いてください。それに対して、とやかく言うことはなかろうと思いますので皆さんよろしいですね。そのような形で動いていただきましょう。どうぞ。

委員 今日皆さんにこの会で、説明いただいた校名案のことなのですが、この後具体的にどのような流れになるかということをお伝えしておきますが、校名案を設立準備委員会として決めたということで、設立準備委員会だよりというものを担当課が作って、概ね、ひと月以内にはホームページでも発表しているところです。今回も同じようなことになります。

設立準備委員会として、「みどりが丘第二小学校」と決めましたということですが、市民の皆様にも広く出ていくということになります。それで、たまたまなのですが、今回6月の議会が、6月中旬ごろに進んでいきますので、このあたりの質問が議員さんから入ってくる形になると思うのです。そうしますと、私どもも当然ここで決めていることなので、そのようになっていますというようなことを、議場の場でやりとりすることになると思いますので、先ほど事務局から説明があったように、最終的な正式決定は、9月の議会で学校設置条例の制定で定まりますが、設立準備委員会で決まったものを基に、基本的には準備していくというようなことで、市民の皆様もそのようなことが広報されていくようなイメージをもていただけるといいのかなと思うのですが、何かもしご質問等あれば。

委員 それが可能だったらアンケートに入れてもいいわけですね。校名として設立準備委員会は、5月31日付で、一応「みどりが丘第二小学校」がいいですよというのを決めました。その上でどうですかというアンケートもできるのではないですか。

設立準備委員会だよりは、あくまでも教育委員会がこの設立準備委員会の内容を報告するだけで、その報告によらなければいけないわけではないで

すよね。事実上アンケートも教育委員会が行っているんで、その報告と前後しても、校章と無関係なものを作らざるを得ないよりかは、校章と学校の名前を関連してイメージした方がつくりやすいのかなと思います。

スケジュールに追われた結果、名前に関係ないものをつくってしまうよりも、きちんと名前と関連付けてつくった方が、良いものができるような感じがします。

委員長 ただ、確定ができないもの、本当にその校名を入れて、「みどりが丘第二」まで入れた校章をつくったときに、それが万が一、私も 99%ないと思っていますが、校名がどこかで変わったら、逆にどうなるのかというのが。

委員 校名をデザイン入れなければいいのではないですか。でも、校名がわかっていると「二」とデザインに入ってしまうことも考えられますね。

委員長 そうなのです。ということは、私たちの責任としては、この場では確定をして決めているが、この上に定例教育委員会と市議会があるとするならば、そこに対して約束はできない。ですので、アンケートには校名が入れられないということで、ご理解いただいた方が良いでしょう。

他にございますか。事務局どうぞ。

学務課員 西八千代地区の中学校対策について、現在の状況をお伝えします。

令和 7 年 4 月 7 日に、市のホームページ及び教育委員会ホームページにて公表しましたが、西八千代地区中学校対策の方針決定については延期することとしました。

「西八千代地区中学校対策の方針決定の延期について」の資料をご覧ください。具体的な理由として、以下の 3 つが挙げられます。

1 つ目。当該地区に居住する児童生徒数の状況が変化し、高津中学校の現存の教室数で生徒が収まらなくなる時期の予測に、1 年ほど遅れが生じる見込みとなったこと。

2 つ目。当該地区における一部の市立小中学校で児童生徒数の減少に伴う適正配置の具体的検討が、八千代市学校適正配置検討委員会で行われる予定となったこと。

3 つ目。千葉県教育委員会による、県立高校改革推進プランの第 2 次実施プログラム案が、令和 7 年度の上半期には示される見通しとなったこと。

これらの理由から延期することが望ましいと判断をしていますので、報告します。

委員 今、事務局から説明があった、見ていただいている資料の下の囲みの、(3)なのですが、すでにご承知の方もいらっしゃると思うのですが、5 月 26 日月曜日に、千葉県の教育委員会の定例会が開かれまして、翌日の千葉日報の第一面に載った件なのですが、この県立高校改革推進プランの第 2 次実施プロ

グラムの案が、上半期には示される見通しとなったということで、4月でとらえていたのですが、5月26日に示されまして、その中に、当該地区の八千代西高等学校が、八千代東高等学校と統合されるというような案が示されています。

こちらが、令和10年度には、2つの八千代西高等学校と八千代東高等学校が統合されて、令和10年4月には、八千代東高等学校の校舎を使って、新しい学校として位置づけるという発表がちょうどあったと思うのです。

事務局の説明に加えさせてもらいましたが、そのようなことから、現状八千代西高校の施設が空く可能性が高まったというようなこともありますので、こちらの中学校対策については、これまで示してきていた、市立の小中学校の施設を活用することと、八千代西高等学校の施設を活用することの案を、まだこの段階では並行する形になるのですが、高校を活用することについては、この後、調査研究していきながら、可能性が少し取り上げられてきたなというようなことになっておりますので、併せてご承知おき願えるとよいかなと思いますので、補足させていただきます。

委員長 ありがとうございます。その他、ございますか。無いですかね。では、滞りなく今日の議事が進んでいったかと思います。

ただいまをもちまして、第4回仮称みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会を閉じます。お疲れ様でした。ありがとうございました。